

事業報告書

平成29年度

平成29年4月1日～平成30年3月31日

学校法人 大阪キリスト教学院

理事長 正田 浩三

聖愛幼稚園 園長 清水 千鶴

学校法人 大阪キリスト教学院 聖愛幼稚園
平成 29 年度(2017 年度) 事業報告書
【2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日】

1. 事業報告

①法人の概要

○名称：学校法人大阪キリスト教学院 聖愛幼稚園

○住所：大阪市阿倍野区丸山通 1 丁目 3 番 61 号

電話番号 06-6651-8039

FAX 06-6651-8039

ホームページ <http://www.seiai-kindergarten.jp/>

○定員：170 名（実員：155 名 2018 年 3 月 1 日現在）

○教職員の状況

園長 1 名 学級担任 7 名(主任教諭 1 名含む) フリー教諭 13 名 保育補助 2 名

子育て支援担当教諭 2 名 職員 1 名

② 事業の概要

○本園の教育目的及び方針

キリスト教精神に基づき、幼児期より宗教心を育み命の大切さや感謝の心を育てる保育を行っている。園児ひとりひとりの個性を大切に、幼児が遊びの中で主体性を発揮し、心の通う保育をすすめている。また、集団生活の中で感謝、思いやり、勇気、責任感、探究心、忍耐、協調性などの自主性、社会性の芽を育てている。幼児ひとりひとりが喜びにあふれ、心満たされる園生活の中で健康で心豊かに神と人ともに愛され、喜ばれる人として成長できるような保育を目指している。

○在園児数(2018 年 3 月 1 日現在)

3 歳児：55 名(2 クラス)

4 歳児：55 名(2 クラス)

5 歳児：45 名(2 クラス)

} 合計 155 名

○開園時間 月～土 7:30～19:00

○休園日 日曜、祝日、夏季(8 月 12 日～15 日)

年末年始(12 月 29 日～1 月 4 日)

○保育時間

月・火・木・金 9:00～14:00

水 9:00～12:00

土 休園

○預かり保育

月～金 早朝保育 7:30～9:00 保育終了後～19:00
土 8:00～16:00

○保育料及び諸経費

保育料：22,000円
教育充実費：20,000円(年間)
おやつ費：700円(8月を除く)
PTA会費：月1,000円(8月3月を除く)

○入園時費用

入園料：50,000円
用品及び制服代：26,000円

○その他 子育て支援等

2歳児クラス(りす組)・・・毎日コース・月木コース・火金コース
園庭開放『元気いっぱい広場』・・・毎週水曜日9:30～15:00
図書室開放『絵本大好き』・・・月1回水曜日9:30～10:30
子育てサークル『みんなにここにこ』・・・年間12回
バイブルクラス・・・月1回 水曜日10:30～11:30
子育て相談室・・・『ふれあいカフェ』月1回 水曜日9:30～12:00
電話相談 月～金9:30～16:00
キンダーカウンセラーによる相談 月1回9:30～16:30

○行事の実施状況

- 4月 入園式・クラス参観・クラス懇談・PTA総会
5月 一日動物園・園外保育・眼科検診・内科検診・クラス懇談
6月 歯科検診・耳鼻科検診・じゃが芋掘り・花の日礼拝・園外保育・親子登園日
プール開き・森の幼稚園
7月 宿泊保育・個人懇談・夕涼み会・森の幼稚園報告会・卒園生同窓会
8月 プール登園
9月 祖父母の日・入園説明会・園外保育・森の幼稚園
10月 運動会・教会学校出席・さつま芋掘り・親子遠足・森の幼稚園報告会・みかん狩り
2歳児クラス説明会・防犯教室
11月 個人懇談・新入園児面接・収穫感謝祭・森の幼稚園
12月 園児クリスマス会・PTAクリスマス会・卒園生クリスマス会
未就園児クリスマス会
1月 もちつき・森の幼稚園
2月 お別れ遠足・雪遊び・一日入園・森の幼稚園
3月 お別れ会・卒園式・終了式・森の幼稚園

2. 平成29年度 情報公開(学校評価)

聖愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育基本法、学校教育法および幼稚園教育要領に従い、キリスト教の精神に基づいて保育し、子ども一人ひとりが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造性を豊に、心身ともに健やかに育つことを目標としている。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領や教育課程の内容を全教職員が確認し共通理解を図ることによって教育の質を高め、さらには保護者のニーズをも確認して園の存在価値や独自性をより高めることに努める。

3. 点検・評価項目<抜粋>の達成および取り組み状況

点検・評価項目	取り組み状況
建学の理念や幼稚園教育要領に沿って園の教育理念、教育目標を定め教育課程を作成している。	教育課程及び指導計画は、幼児の実態や発達を考慮しながら教育基本法、学校教育法、幼稚園教育要領に沿って編成している。また教師会や教職員間で学びや確認の時を持ち、機会あるたびに話題に上げて理解を深めるよう努めている。
教育課程は子どもの発達の状況や実態などをもとに作成している。	園の教育理念や教育方針をより深く理解しながら、一人ひとりの子どもをありのままに受け止め、子どもの様子や成長に合わせ、実態に即した教育課程を作成している。
子どもの実態を的確につかみ具体的な手立てを講じながら日々子どもに対応している。	登園から降園までの一日の流れのなかで心身の健康状態をはじめ、一人ひとりの個性を理解して、保育の場に生かせるよう努めている。また、就労している保護者も増え、長時間の預かり保育児童も多くなってきていることから、預かり保育の充実にも力を入れている。
遊びを通して工夫したり協力したりするなど、創造性や社会性を育てている。	遊びの発展や様々な子どもの活動に合わせて、遊びの広がりや深まりが持てるよう配慮している。手作り遊具や豊富な教材のある施設環境、さらに「森の幼稚園活動」など、大自然に接する機会も積極的に持っている。また、異年齢児との交流も多く持つように配慮している。
子育て支援をはじめ地域とのかかわりを積極的に計画し実施している。	地域への支援は現在幼稚園の重要な役割となっており、園庭開放や子育てサークル、教育相談、キンダーカウンセリングなど積極的に取り組んでいる。月1回行っている『ふれあいカフェ』や『バイブルクラス』などにも、地域の方々に自由に参加してもらえるようにホームページやポスターなどで知らせている。花の日礼拝や収穫感謝祭、敬老の日などには地域の施設などを訪問し、地域に根ざした幼稚園を目指している。また近くの小学校との交流も徐々に進め、幼小連携を強めるために今後

	も積極的に取り組みへの工夫を重ねていきたい。併設するせいあい保育園の保育士とも協力しながら地域交流の機会を多く持ち、地域の子育て支援の中心となるように努力している。
教職員が研究会や研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努めている。	研究会や研修会に参加し新しい情報や刺激を得ることは、常に質の高い教育の実践を続けていくためには欠かすことは出来ない。雑務や毎日の仕事に追われて研修の時間が取れない時もあるが、年間で計画をたて園内や園外の研修をより多く持つことが出来る様にしている。研修で学んだことはレポートを提出し、教師会等で発表し合い教師間で共有している。
安全管理や防災活動に定期的に取り組んでいる	火災や地震等の災害に対しては防災意識を高めるために定期的に訓練を実施し、マニュアルを作成して防火、防災管理に努めている。外部からの侵入等に対するチェックなどの安全管理についても 24 時間守衛をおき監視体制は整っている。また、園内に AED を設置し教職員は定期的に救命講習を受講している。 アレルギー体質の園児も多くいることから、エピペン講習にも積極的に参加し緊急対応できるようにしている。
保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応を図っている。	園児の登降園時や個人懇談等で子どもの様子を伝え、話し合う機会を設けている。また、保護者のニーズや園に対する意見はしっかり受け止めるよう努め、改善できることは改善している。苦情があった時には意見を真摯に受け止め、園長が中心となり対応し、必要に応じて理事会や学院の委員会などで取り上げ適切に対応している。

4. 学校（幼稚園）自己点検・評価の具体的な目標、計画の総合的な評価結果

学校評価の主旨を理解し、適切に自己点検・評価に取り組んでいる。今後も幼稚園の社会に対する役割の変化をも踏まえながら、客観的な目で自らの保育、教育を振り返り、さらに充実した実践ができるように教職員が力を出し合い努力していきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
施設環境	園内の環境においては保健・衛生、設備、施設の点検等、さらなる環境整備に努め、園児が安全に、安心して生活し、遊ぶことのできる快適な環境になるよう努める。
情報公開の方法	現在、園便り、ポスター掲示、ホームページ等を通して行っているが、さらに地域、一般にもわかりやすいホームページの充実、作成に努める。

自己点検・評価	教職員一人ひとりが、専門性を高めるためにより高い目標を課題に挙げて取り組むとともに、さらに園の運営の在り方や今後のあるべき方向についても協議し検討を重ねていく。
指導計画の編成	指導計画の作成のために毎年グレース幼稚園の保育者とも話し合い編成している。さらに十分な討議をして共通理解を深め見直すところは見直し、幼稚園を取り巻く環境や子どもの実態に即した指導計画の作成に取り組めるよう努める。

6. 学校関係者の評価

評価年月日 平成30年7月20日

評価者（保護者：5歳児3名 4歳児2名 3歳児2名）

評価項目（抜粋）	評価
1. 教育（保育） 内容や教育方法 について	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教精神に基づき一人一人を大切にし、個性を生かす教育がされており評価できる。 ・キリスト教を信仰していなくても共感や発見があり、親の立場からでも学びが多い。 ・キリスト教精神に基づいた保育をしており園児一人ひとりの個性を大切にし、大自然と触れ合う機会もあり子ども達が心豊かに成長出来るよう配慮されている。 ・遠足でたくさん自然と触れ合える所が良い。園内で野菜を育て、食育を行うところが良い。一人ひとりの個性を大事にしている。 ・キリスト教の精神に基づき、子ども達が自己肯定感を高め、心豊かに成長できるよう保育が行われている。 ・「強制的」でなく「自主的」に行動することを大切にし、また毎日の礼拝やお祈りから感謝する心を育む教育方針を評価できる。 ・個人を尊重するという方針は並大抵の思慮で成り立つものではない。子どもを大人の事情に合わせてコントロールするのではなく、あくまで子どもの喜びを主体とした教育方針は幼稚園の素晴らしさの根幹になっていると思う。 ・子どもを型にはめ込むのではなく、ありのままに受け止め成長を見守ってくれる。子ども達同士が関係を持つ中で教え合い、学んでいる姿が見られます。
2. 教育の在り 方、幼児への対応 について	<ul style="list-style-type: none"> ・園外活動や里山活動など、日常ではなかなか体験できない活動も多く、子ども達が充実した園生活を送れるよう工夫されている点は高く評価できる。欲を言えば集団で同じことをする、学ぶ時間(文字や数字などの学習)を少し取り入れてもらえたら尚良い。 ・子ども達一人ひとりの個性を大切にしている。決して、強制的にさせたりする様なことはなく、子ども達の自主性を引き出す対応ができ、子ども達への愛情が伝わる。 ・子どもの意見を聞いている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の自主性を尊重し、見守りつつも必要な時は適切な声かけとフォローがされている点が評価できる。 ・それぞれ一人ひとりの個性を尊重し子ども達に愛情をもって接している。 ・教育方針に偽りなく実際に子どもの人権を認めているのが先生の言葉や仕草から伝わってくる。幼少期に自分を肯定的に受け止めていたという時間は大人になっても世界に寛容に向き合える力を育ててもらっていると感じる。 ・子どもの目線に立って考えてくれ、抑えつけることもなく子どもの成長を見守っている。自分で考え自分で行動出来る子に育てている。
<p>3. 教師の資質や、適性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経験豊富な先生が多く、子ども達に愛情深く接しているので安心できる。それゆえ経験の浅い先生との差（子どもへの配慮や気づき）が生じてしまうように感じるが、多くの先生方がフォローされているよう思う。 ・どの先生もいつも優しく笑顔で対応している。 ・経験豊富な先生が多く安心でき、どんな事にも柔軟に対応してくれる。 ・いつも笑顔で明るく元気に接している。相談にもものってくれ、とても頼りになる。 ・受け持ちの子どもだけでなく、全ての子ども達にいつも明るくにこやかに接し、子ども達一人ひとりの個性を大切にする教師が揃っている。 ・ベテランの先生が多く、保護者としても安心して子どもを預けられる。ただ、若手の先生も長く続けて素晴らしい先生に慣れるようフォローも大切だと感じる。 ・明るく朗らかに優しく園児に接しており感謝している。日本一の教師が集結していると確信している。 ・入園したその日にすべての先生が我が子の名前を覚えてくれていたことに感動した。どの先生も園児を愛して下さり、子ども達も先生が大好きである。
<p>4. 子育て支援や地域との関わりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に相談やカウンセリングを受ける場を設けている。季節ごとの行事を開催し、地域との関わりを多く持つよう工夫されており評価できる。 ・専門家のカウンセラーに相談できるキンダーカウンセリングや園庭開放、月1回行われる『子育てサークル』など積極的に子育て支援を行っている。 ・未就園児も園庭開放や園行事に参加できるところが素晴らしい。 ・未就園児も園行事に参加出来たり、園庭開放での交流の場や保護者の子育て相談の場を設けていたり、積極的に子育て支援を行っている。 ・園庭開放や子育てサークルなど園児以外の子ども達との関わりにも力を入れている。また「花の日礼拝」など地域の方にも日頃の感謝を伝える行事があり良いと思う。 ・未就園児へのイベントや教室開放などに積極的に取り組んでいるのをプリントや掲示物から感じる。また卒園児も温かく受け入れてくれ、地域の重要な場所となっている。 ・入園前の親子が参加出来る行事が楽しいです。流しそうめん、一日動物園、おもちゃつき、クリスマス会など多くの方が来ている。もう少し段取りが良いといい。

<p>5. 保護者への対応について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談や送迎時に子どもの様子を知らせてくれる。また里山活動の報告会などを開催し、子ども達の様子も写真などを交えながらわかりやすく説明しているので安心できる。 ・どの先生も笑顔で声をかけてくれ、子どもの小さな変化なども教えてくれるので安心できる。柔軟な対応ができる先生が多く、保護者からの相談にも適切に対応し信頼できる。 ・相談にのってくれる。話しやすい環境を作ってくれている。 ・個人懇談だけでなく普段から子どもの様子を知らせてくれるので、困った時には相談しやすく安心である。 ・保育中の些細な事や様子などを伝えてもらえるので安心、信頼できる。保護者との連携もしっかり取れている。 ・いつも迎える時に朗らかに接してもらい、仕事で疲れた気持ちを癒してくれる。細やかな報告もしてもらい信頼している。 ・日々の様子は迎える時に教えてもらえて助かる。月に1回のプリントは見易さを改善して欲しい。掲示板よりプリントの方が良かった。HPをもっと機能させてもよいと思う。
<p>6. 安全管理等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の敷地内に有る為、守衛の方が常駐していて安心できる。 ・守衛に不審な人物、日頃見かけない人物を察知してもらいやすい。 ・門の入り口には必ず守衛が駐在しているので安心できる。 ・月1回の避難訓練を行い、子ども達への意識付けも出来ている。 ・門に守衛がいて、安心して通わせることが出来る。 ・給食の食材は出来るだけ国産を使用しており安心である。 ・大学の敷地内にあるため、守衛が常駐しているので安心である。また月1回の避難訓練で緊急時に子ども達が対応出来るよう取り組んでいる。 ・園児や預かり保育が増えた近年、いろいろな課題に追われていると思う。まずは家庭が家族の安全について教えていくことが大事だと思う。 ・毎月行う避難訓練は実際の地震の際、成果を発揮していた。門前に立っている守衛は子ども達を常に優しく事故から守ってくれ助かる。
<p>7. 遊具、教材、設備等、園内環境について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備や教材、遊具など充実している。建物やトイレは古さを感じるが清潔にしており飾り付けなど工夫している。旧園舎、特に1階の庭に面している箇所の細かな清掃がもう少し行き届いていれば尚良い。 ・遊具に関しては充実しており、子ども達もとても楽しんでいる。1つ気になる所は園内に砂や石が沢山入り込んでしまうところである。 ・遊具の種類が多くとても充実している。 ・遊具、園内環境は十分に整えられている。教材も充実しており、子ども達が興味を持つようにいつも工夫されている。 <p>園庭の狭さが気になるが、その分園外保育が充実している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内環境に有名キャラクター物がないのが良いです。教材も安易な子ども騙しで

	<p>はない、後の感性を築く文化度の高い物を選んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none">・カプラ、LaQ、レゴブロックのような想像力を育むおもちゃ、粘土、折り紙、工作など創造する機会がおおい。自転車のタイヤやボールの空気圧点検、乗り物遊具の整備の頻度をもう少し増してもよいと思う。
--	---

7. 財務状況

公認会計士より、適正に処理されているとの報告を受けている。なお今年度も園の財務状況に関して積極的に公開をいたしました。

この公表シートは財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、私立幼稚園版「学校評価ガイド」にある様式（項目）を使用した

聖愛幼稚園

資金収支計算書

2017年4月 1日から
2018年3月31日まで

収入の部

(単位 円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	14,759,700
手数料収入	0
寄付金収入	367,590
補助金収入	78,996,300
国庫補助金収入	1,140,000
大阪府補助金収入	43,120,000
大阪市補助金収入	31,856,300
その他の補助金収入	2,880,000
資産運用収入	0
資産売却収入	0
事業収入	14,690,534
受取利息配当金収入	5,083
雑収入	6,140,061
小 計	114,959,268
前受金収入	3,200,000
その他の収入	136,877,362
資金収入調整勘定	△11,221,450
他会計からの繰入収入	0
前年度繰越支払資金	20,036,138
【収入の部合計】	263,851,318

支出の部

(単位 円)

科 目	金 額
人件費支出	71,767,563
教育研究経費支出	11,807,535
管理経費支出	5,874,620
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	0
設備関係支出	0
小 計	89,449,718
資産運用支出	70,000,000
その他の支出	74,349,393
資金支出調整勘定	△594,130
他会計への繰入支出	0
翌年度繰越支払資金	30,646,337
【支出の部合計】	263,851,318

聖愛幼稚園

事業活動収支計算書

2017年4月 1日から
2018年3月31日まで

教育活動収支

収入の部

(単位 円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	14,759,700
手数料	0
寄付金	367,590
補助金	78,996,300
国庫補助金	1,140,000
大阪府補助金	43,120,000
大阪市補助金	31,856,300
その他の補助金収入	2,880,000
資産運用収入	0
資産売却差額	0
事業収入	14,690,534
雑収入	798,611
教育活動収入計	109,612,735

支出の部

(単位 円)

科 目	金 額
人件費	66,426,113
教育研究経費	16,081,414
管理経費	5,890,920
徴収不能額等	0
教育活動支出計	88,398,447
教育活動収支差額	21,214,288

教育活動外収支

収入の部

科 目	金 額
受取利息・配当金	5,083
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	5,083

教育活動外収支

支出の部

科 目	金 額
借入金等利息	0
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額	5,083
經常収支差額	21,219,371

特別収支

収入の部

科 目	金 額
資産売却差額	0
その他の特別収入	0
特別収入計	0

支出の部

科 目	金 額
資産処分差額	0
その他の特別支出	0
特別支出計	0
特別収支差額	0

(参考)

事業活動収入計	109,617,818
---------	-------------

事業活動支出計	88,398,447
---------	------------

基本金組入前当年度収支差額	21,219,371
---------------	------------

基本金組入額合計	428,000
----------	---------

当年度収支差額	21,647,371
---------	------------

資金収支計算書

2017年 4月 1日から
2018年 3月 31日まで

<総括表>

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	448,240,000	449,150,500	△ 910,500
手数料収入	3,900,000	3,633,200	266,800
寄付金収入	5,080,000	5,365,115	△ 285,115
補助金収入	368,770,000	378,626,580	△ 9,856,580
国庫補助金収入	43,000,000	45,466,000	△ 2,466,000
地方公共団体補助金収入	229,070,000	229,446,090	△ 376,090
保育給付費収入	96,700,000	103,714,490	△ 7,014,490
資産売却収入	0	4,601	△ 4,601
付随事業・収益事業収入	26,640,000	28,187,303	△ 1,547,303
受取利息・配当金収入	11,300,000	11,446,899	△ 146,899
雑収入	26,410,000	26,733,310	△ 323,310
借入金等収入	180,000,000	162,000,000	18,000,000
前受金収入	145,010,000	143,540,000	1,470,000
その他の収入	298,510,000	415,611,149	△ 117,101,149
資金収入調整勘定	△ 367,120,000	△ 367,806,850	686,850
前年度繰越支払資金	795,120,000	795,117,923	2,077
収入の部合計	1,941,860,000	2,051,609,730	△ 109,749,730
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	566,350,000	558,882,364	7,467,636
教育研究経費支出	147,370,000	148,482,549	△ 1,112,549
管理経費支出	136,740,000	99,785,850	36,954,150
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	400,700,000	374,419,585	26,280,415
設備関係支出	18,190,000	8,181,352	10,008,648
資産運用支出	15,000,000	75,000,000	△ 60,000,000
その他の支出	217,370,000	278,332,887	△ 60,962,887
〔予備費〕	(0) 14,000,000		14,000,000
資金支出調整勘定	△ 250,120,000	△ 233,084,011	△ 17,035,989
翌年度繰越支払資金	676,260,000	741,609,154	△ 65,349,154
支出の部合計	1,941,860,000	2,051,609,730	△ 109,749,730

活動区分資金収支計算書

2017年 4月 1日から

2018年 3月 31日まで

<総括表>

(単位 円)

科 目		金 額
教育活動による資金収支	収入	
	学生生徒等納付金収入	449,150,500
	手数料収入	3,633,200
	一般寄付金収入	5,365,115
	経常費等補助金収入	259,123,580
	付随事業収入	28,187,303
	雑収入	26,733,310
	教育活動資金収入計	772,193,008
	支出	
	人件費支出	558,882,364
教育研究経費支出	148,482,549	
管理経費支出	99,785,850	
教育活動資金支出計	807,150,763	
差引	-34,957,755	
調整勘定等	-12,890,189	
教育活動資金収支差額	-47,847,944	
科 目		金 額
施設整備等活動による資金収支	収入	
	施設設備寄付金収入	119,503,000
	施設設備補助金収入	4,601
	減価償却引当特定資産取崩収入	160,000,000
	施設整備等活動資金収入計	279,507,601
	支出	
	施設関係支出	374,419,585
	設備関係支出	8,181,352
	減価償却引当特定資産繰入支出	73,000,000
	施設整備等活動資金支出計	455,600,937
差引	△ 176,093,336	
	0	
施設整備等活動資金収支差額	△ 176,093,336	
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		-223,941,280
科 目		金 額
その他の活動による資金収支	収入	
	借入金等収入	162,000,000
	預り金受入収入	227,236,810
	小計	389,236,810
	受取利息・配当金収入	11,446,899
	その他の活動資金収入計	400,683,709
	支出	
	退職給与引当特定資産繰入支出	2,000,000
	預り金支払支出	228,251,198
	その他の活動資金支出計	230,251,198
差引	170,432,511	
その他の活動資金収支差額	170,432,511	
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		-53,508,769
前年度繰越支払資金		795,117,923
翌年度繰越支払資金		741,609,154

事業活動収支計算書

2017年 4月 1日から
2018年 3月 31日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	448,240,000	449,150,500	△ 910,500
		手数料	3,900,000	3,633,200	266,800
		寄付金	5,080,000	5,365,115	△ 285,115
		経常費等補助金	249,270,000	259,123,580	△ 9,853,580
		国庫補助金	43,000,000	45,466,000	△ 2,466,000
		地方公共団体補助金	109,570,000	109,943,090	△ 373,090
		保育給付費収入	96,700,000	103,714,490	△ 7,014,490
		付随事業収入	26,640,000	28,187,303	△ 1,547,303
		雑収入	20,890,000	21,279,760	△ 389,760
		教育活動収入計	754,020,000	766,739,458	△ 12,719,458
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算
人件費	552,210,000			546,517,761	5,692,239
教育研究経費	220,770,000			221,939,964	△ 1,169,964
管理経費	154,740,000			117,948,029	36,791,971
徴収不能額等	0			0	0
教育活動支出計	927,720,000	886,405,754	41,314,246		
教育活動収支差額			△ 173,700,000	△ 119,666,296	△ 54,033,704
教育活動外収入の部	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	11,300,000	11,446,899	▲ 146,899
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	11,300,000	11,446,899	▲ 146,899	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額			11,300,000	11,446,899	▲ 146,899
経常収支差額			△ 162,400,000	△ 108,219,397	△ 54,180,603
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	3,000,000	0	3,000,000
		その他の特別収入	119,600,000	119,538,025	61,975
	特別収入計	122,600,000	119,538,025	3,061,975	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	23,000,000	20,006,418	2,993,582
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計		23,000,000	20,006,418	2,993,582	
特別収支差額			99,600,000	99,531,607	68,393
〔予備費〕			(0)		14,000,000
基本金組入前当年度収支差額			△ 76,800,000	△ 8,687,790	△ 68,112,210
基本金組入額合計			△ 335,300,000	△ 123,237,057	△ 212,062,943
当年度収支差額			△ 412,100,000	△ 131,924,847	△ 280,175,153
前年度繰越収支差額			△ 290,000,000	△ 289,998,792	△ 1,208
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 702,100,000	△ 421,923,639	△ 280,176,361

(参考)

事業活動収入計	887,920,000	897,724,382	△ 9,804,382
事業活動支出計	964,720,000	906,412,172	58,307,828

貸借対照表

2018年 3月 31日

<総括表>

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,129,195,326	3,942,580,847	186,614,479
有形固定資産	3,068,808,886	2,797,194,407	271,614,479
特定資産	1,060,000,000	1,145,000,000	▲ 85,000,000
その他の固定資産	386,440	386,440	0
流動資産	924,800,644	827,959,026	96,841,618
資産の部合計	5,053,995,970	4,770,539,873	283,456,097
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	419,695,440	273,860,461	145,834,979
流動負債	393,484,439	247,175,531	146,308,908
負債の部合計	813,179,879	521,035,992	292,143,887
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	4,662,739,730	4,539,502,673	123,237,057
第1号基本金	4,596,739,730	4,473,502,673	123,237,057
第4号基本金	66,000,000	66,000,000	0
繰越収支差額	△ 421,923,639	△ 289,998,792	▲ 131,924,847
純資産の部合計	4,240,816,091	4,249,503,881	▲ 8,687,790
負債及び純資産の部合計	5,053,995,970	4,770,539,873	283,456,097

財 産 目 録

(2018年3月31日現在)

科 目	金 額
一 資産額	
(一)基本財産	3,068,885,326 円
1 土地(団地)	
校地	31,483 m^2 596,481,453 円
2 建物	
(1)校舎	15,845 m^2 1,978,058,738 円
(2)構築物	106,484,353 円
3 教具・校具・備品	8,046 点 97,755,629 円
4 図書	117,675 冊 290,028,713 円
6 電話加入権	1 点 76,440 円
(二)運用財産	1,985,110,644 円
1 預金、現金	741,609,154 円
2 特定引当資産	1,060,000,000 円
3 有価証券他	183,501,490 円
合 計	5,053,995,970 円
二 負債額	813,179,879 円
1 固定負債	419,695,440 円
(1)長期借入金	153,534,000 円
(2)長期未払金	1,116,288 円
(3)退職給与引当金	265,045,152 円
2 流動負債	393,484,439 円
(1)短期借入金	8,466,000 円
(2)未払金	231,707,669 円
(3)前受金	143,540,000 円
(4)預り金	9,770,770 円
正味財産	4,240,816,091 円

平成30年5月16日

学校法人大阪キリスト教学院 理事会 御中

監事 山下 佳弘



監事 東 幸生



監査報告書

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人大阪キリスト教学院寄付行為第17条に基づき、学校法人大阪キリスト教学院の平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の学校法人の業務及び財産状況について監査を行いました。

私たちは学校法人大阪キリスト教学院監事監査規程に準拠し、理事会に出席し業務の報告を聞き、監査を行うに際しては5月11日、5月16日に重要な決裁書類等を閲覧するとともに大阪キリスト教学院が監査を委託する公認会計士（横井俊幸氏及び新木本則功氏）から私立学校振興助成法に基づく監査の状況について説明を聞くなど、本学院の業務及び財産の状況について必要と認めた監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人の業務及び監査に関し、不正行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重要な事実はないものと認めます。

以上